

情 報 公 開 文 書

研究の名称	経カテーテル的大動脈弁留置術における麻酔導入時からのノルアドレナリン持続投与が循環動態に与える影響に関する後ろ向き検討
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院麻酔科 助教 伊東久勝
研究の概要	<p>【研究対象者】2013年5月1日から2020年12月31日までに富山大学附属病院で経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI)を施行された患者様を対象とします。</p> <p>【研究の目的・意義】TAVIの全身麻酔では、循環動態の安定化のためしばしばノルアドレナリン(NA)が用いられます。当院では麻酔導入時からノルアドレナリン持続投与を行うようになりましたが、行う前と比較して循環動態を反映する項目にどう影響したかについて後方視的に検討を行います。</p> <p>【研究の方法】麻酔導入時からNA 0.1 µg/kg/hで持続静注した群とNA持続投与を行わなかった群に分類します。それぞれの患者について、術前の基本的な患者背景、身体機能、手術リスクスコア(Euro2およびSTS score)、バイタルサイン、合併症、血液検査データ、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査、および術中のバイタル変動(特に麻酔導入前後の血圧)、昇圧薬使用量、また術後から退院までの経過や合併症の有無について調査を行い、群間比較を行います。</p> <p>【研究期間】承認日～2022年12月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 2022年日本麻酔科学会で報告し、同学会が運営する国際誌(Journal of Anesthesia)に投稿します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	【診療目的で取得・保有する診療情報】患者背景(年齢・性別・体重・身長)、身体機能(NYHA分類・6分間歩行テスト・CSHAスコア)、手術リスクスコア(Euro2およびSTS score)、バイタルサイン(血圧・心拍数・動脈血酸素飽和度)、合併症の有無、血液検査データ、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査、および術中のバイタル変動(特に麻酔導入前後の血圧)、昇圧薬使用量、また術後から退院までの経過や合併症の有無に関するカルテ記録を調査します。他機関への情報の提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	機関：富山大学附属病院麻酔科 責任者：伊東久勝
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	責任者：富山大学附属病院麻酔科 助教 伊東久勝
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7377 FAX 076-434-5040 E-mail hisa@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院麻酔科 助教 伊東久勝</p>